

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設整備費補助 (水道施設災害復旧費補助含む)		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	簡易水道等施設整備費(昭和27年度) 水道水源開発等施設整備費(昭和42年度)		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計、 東日本大震災復興特別会計(H24~)		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水道法第44条		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	水道事業又は水道用水供給事業を営む地方公共団体に対し、その事業に要する費用のうち一部を補助することにより、安全で質が高く災害に強い水道を確保する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	地方公共団体が施行する水道施設の整備に必要な事業費の一部補助 ①簡易水道等施設整備費補助(補助率:4/10,1/3,1/4)…布設条件の特に厳しい農山漁村における簡易水道の整備事業 ②水道水源開発等施設整備費補助(補助率:1/2,1/3,1/4,定額)…ダム等の水道水源施設整備事業、水源水質の悪化に対処するための高度浄水施設整備事業、老朽管の更新、基幹水道構造物の耐震化、老朽管更新など水道施設耐震化事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	66,506	46,948	28,251	37,967	46,927	
		補正予算	5,601	1,838	1,572			
		繰越し等	5,303	6,366	16,353	5,774		
		計	77,410	55,153	46,176	43,741	46,927	
	執行額	63,804	53,421	44,694				
執行率(%)	82.4%	96.9%	96.8%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	基幹管路の耐震化適合率		成果実績	%	30.3	31.0	集計中	100
			達成度	%	30.3	31.0	集計中	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助採択件数		活動実績 (当初見込み)	件	1,922 (1,629)	1,723 (1,777)	1,481 (1,350)	- (1,238)
単位当たり コスト	30(百万円/件)		算出根拠	執行額/補助採択件数				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	簡易水道等施設整備費補助	18,660	19,230	うち東日本大震災復興特別会計(24年度当初予算:4,089、25年度要求:6,876) うち重点要求(25年度要求:653)				
	水道水源開発等施設整備費補助	18,902	27,336	うち東日本大震災復興特別会計(24年度当初予算:13,477、25年度要求:18,699) うち重点要求(25年度要求:2,347)				
	指導監督事務費補助	50	50					
	北方領土隣接地域振興等事業補助率差額	5	11					
	水道施設災害復旧事業費補助	350	300					
	計	37,967	46,927					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を行うことは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	安全で質の高い水道を確保するための水道施設の整備を行うことは、全国一律の基準で国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	水道事業に係る施設整備については、補助金交付要綱に照らして採択を行っているところであり、競争性は確保されておりその支出先の選定も妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	適正な執行を行い、単位あたりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い災害に強い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業実績報告等において費目・使途を十分に把握できしており、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	適切な成果目標を立て、その達成度は高い。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みを上回る実績であり、見合ったものである。
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	類似の事業(地域)を他省庁にて計上しているが、適切な役割分担となっている。
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 右記のとおり	国土交通省:水道施設整備費補助(北海道開発事業費) 国土交通省:水道施設整備費補助(離島振興事業費) 国土交通省:水道水源開発施設整備費補助(水資源開発事業費) 内閣府:水道施設整備費補助(沖縄開発事業費) 内閣府:地域自主戦略交付金(水道施設整備に関する事業) 内閣府:沖縄振興公共投資交付金(水道施設整備に関する事業)
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果実績及び活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。	
点検結果	<p>水道施設整備費補助については、水道法に基づく必要な事業であり、執行の観点からも妥当と考えている。</p> <p>これまでも平成21年度に実施された「事業仕分け」の評価結果等を踏まえ、平成22年度予算では約3割の大幅削減が実施され、平成23年度予算では都道府県分が一括交付金化したことや「概算要求組替え基準」への対応を行い、平成24年度予算においても政令指定都市分の「一括交付金化」及び「概算要求組替え基準」への対応などこれまでも不断の見直しを行っているところであるが、今後も引き続き効率的な執行に努めることとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	水道施設整備費補助については、水道法に基づく必要な事業であり、過去の執行額との比較から予算規模は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p><事業仕分け第1弾～第3弾の別> 事業仕分け第1弾</p> <p><事業番号・事業名> 事業番号1-14 水道施設整備事業</p> <p><WGの評価結果> 予算要求の縮減(10%～20%)</p> <p><とりまとめコメント> それぞれの地方公共団体が行う水道事業について、格差是正や耐震化を進めるために国で補助を行うことについては必要であると評価する。ただし、補助の出し方として水道料金が平均を上回ることをすべて対象とするのはいかがなものか。当ワーキングでは、メリハリをつけて見直しを行うことによりコスト減を図ることとし、10～20%予算要求の縮減を行うことを結論とする。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	343	平成23年行政事業レビュー	311

厚生労働省 44,694百万円

〔補助金の交付決定〕

○簡易水道等施設整備費

【補助】

A. 水道事業者(採択件数611) 16,561百万円

〔施設整備事業の実施〕

○水道水源開発等施設整備

【補助】

B. 水道事業者(採択件数744) 27,602百万円

〔施設整備事業の実施〕

【補助】

○指導監督事務費

D. 都道府県(45) 38百万円

〔補助事業者の指導・監督〕

○水道施設災害復旧事業費

C. 水道事業者(採択件数76) 487百万円

〔災害復旧事業の実施〕

○北方領土隣接地域振興等事業補助率差額

E. 水道事業者(採択件数5) 6百万円

〔補助率差額の執行〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.一関市			E.根室市		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	水道未普及地域解消事業	549	根室市	水道施設整備事業に係る補助率差額	5
計		549	計		5
B.東京都			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	水道水源開発施設整備、高度浄水施設等整備、一般広域化施設整備	2,253			
計		2,253	計		0
C.熊野市			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	57			
計		57	計		0
D.岩手県			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	旅費、通信運搬費、消耗品等	4.2			
計		4.2	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 簡易水道等施設整備費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一関市	水道未普及地域解消事業	549		
2	長崎市	水道未普及地域解消事業、簡易水道再編推進事業	368		
3	三次市	水道未普及地域解消事業、簡易水道再編推進事業	331		
4	出雲市	水道未普及地域解消事業、簡易水道再編推進事業、生活基盤近代化事業	251		
5	伊万里市	水道未普及地域解消事業、簡易水道再編推進事業、生活基盤近代化事業	235		
6	唐津市	簡易水道再編推進事業	227		
7	津市	水道未普及地域解消事業	218		
8	阿賀町	簡易水道再編推進事業、生活基盤近代化事業	217		
9	佐賀市	水道未普及地域解消事業	201		
10	五泉市	生活基盤近代化事業	192		

B. 水道水源開発等施設整備費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	水道水源開発施設整備、高度浄水施設等整備、一般広域化施設整備	2,253		
2	横浜市	配水池整備、緊急時用連絡管整備、基幹水道構造物の耐震化事業等	1,332		
3	大阪広域水道企業団	大容量送水管整備	1,323		
4	福岡市	水道水源開発施設整備、基幹水道構造物の耐震化事業等	971		
5	神戸市	高度浄水施設等整備、緊急時用連絡管整備、老朽管更新事業等	927		
6	田川地区水道企業団	水道水源開発施設整備	599		
7	川崎市	配水池整備、基幹水道構造物の耐震化事業等	511		
8	岐阜県	特定広域化施設整備	448		
9	北九州市	水道広域化促進事業、緊急遮断弁整備、老朽管更新事業	404		
10	神奈川県内広域水道企業団	基幹水道構造物の耐震化事業	399		

C. 水道施設災害復旧事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	熊野市	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	57		
2	石垣市	平成22年10月22～23日豪雨災害に係る工事	56		
3	日高川町	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	51		
4	奄美市	平成22年10月20日豪雨災害に係る工事	50		
5	只見町	平成23年7月30日新潟・福島豪雨災害に係る工事	38		
6	三条地域水道用水供給企業団	平成23年7月30日新潟・福島豪雨災害に係る工事	31		
7	那智勝浦町	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	27		
8	日高川町	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	20		
9	日高川町	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	18		
10	串本市	平成23年9月3日台風12号豪雨災害に係る工事	17		

D. 指導監督事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	4.2		
2	宮城県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	2.2		
3	愛媛県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.8		
4	長野県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.8		
5	兵庫県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.7		
6	福島県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.7		
7	高知県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.7		
8	島根県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.6		
9	茨城県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.4		
10	宮崎県	水道施設整備に係る指導監督事務の実施	1.3		

E. 北方領土隣接地域振興等事業補助率差額

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	根室市	水道施設整備事業に係る補助率差額	5.4		
2	標津町	水道施設整備事業に係る補助率差額	0.6		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					